

令和元年度行政評価委員会 議事要旨

会議名	第6回葛飾区行政評価委員会第二分科会
開催日時	令和元年8月19日(月) 午前10時から12時
開催場所	葛飾区役所5階 庁議室
出席者	【委員7人】 小松原会長、大畑委員、上村委員、田中委員、谷本委員、西山委員、村上委員 【区側7人】 事務局(政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員5人)

会議概要

1 開会

(事務局より資料の確認等を行った)

2 事務事業評価

(1) 障害者週間行事

A委員 : 改善ではなく、廃止にすべきではないか。事業名を変更し、障害者の問題をもっと取り上げる事業にするべきではないか。

小松原会長 : 事業名を変更して新たな事業を実施することは改善だと思う。障害者週間行事として、様々な取組みを行うことが皆さんの意見だと考えている。廃止の前に、事業のマンネリ化の改善などやるべきことがあると感じている。

B委員 : 国をあげて実施している障害者週間行事を、葛飾区がやめてしまうのはいかがなものか。障害者週間行事での取組みは、ウェルピアまつりのみという考えをまずは清算して、多様な取組みを行うべきではないか。

C委員 : 事務事業名を変更すれば良いというわけではなく、障害者への理解促進に向けて障害者週間行事に留まらない多様な取組みを展開すべきだと思う。

D委員 : 啓発活動を通して、イベントを実施し、思いやりのある人を増やすことも事業を実施する一つの意義だと思う。12月4日から世界人権週間が始まるので、便乗して何かイベントを実施しても良いのではないか。ノーマライゼーション、ダイバーシティなどの言葉を区民に認知してもらえるようなイベントにして欲しい。

- E委員 : 一箇所でも良いので、作品を別の施設で展示してはどうか。
- A委員 : 障害者全体の事を考える大枠の事業を改めて作り、その中に障害者週間行事という事業を入れるべきではないか。
- 小松原会長 : 今のやり方では、目的を達成していないことは確かである。まずは、障害者週間行事という事務事業の目的を達成する方法を委員会で考えるべきだと思う。区が主体的に多様な取組み行うという意味で、改善で良いのではないかと思う。
- C委員 : コストの部分は、単純に現在の事業に一層コストをかけて良いという意味ではなく、まず、他の事業と合わせて内容を見直して、必要に応じてコストをかけるといった文言としてほしい。
- D委員 : 12月は気候の問題で、屋外で行うイベントの開催が難しいとのことであったが、実施時期がずれると啓発の効果は減少するようになると思う。12月3日からの障害者週間に合わせて、独自のイベントを実施して、広く啓発することも大切ではないか。
- 小松原会長 : 皆さんの意見をまとめると、ウェルピアかつしか以外での作品展示以外にも各種イベントを実施できるように、必要な所にコストをかけるべきということになるかと思う。
- F委員 : 私は作品展に出品している方をもっと大切にすべきだと思う。まずはウェルピアかつしか以外に、作品を展示する場を増やすことに重きを置くべきではないか。
- C委員 : ウェルピアまつりだけでは、事業として足りないという意味合いが伝わりにくいので、文言を加えた方が良いのではないか。
- 小松原会長 : 今日頂いた意見を踏まえて、文言は整理していく。

(2) 日光林間学園運営

- C委員 : コストの部分で、冬季閉鎖や、廃止が必要であるといった文言を加えるべきではないか。
- A委員 : 具体的な成果を記載した方が良いと思う。
- F委員 : 指定管理者との契約で、目標を達成していないとペナルティはあるのか。
- 事務局 : 目標は当然設けていると思うが、ペナルティがあるかは分からない。
- F委員 : その数値が分からないと、集客の効果がみられたかどうか把握できない。
- B委員 : 集客方法は指定管理者が本来考えないといけない。
- D委員 : 所管課が、まずは現状把握に努めることが大事だと思う。
- 小松原会長 : 指定管理者との責任が不明確であるなどの問題提起という部分で

今回は答申したい。

- C委員 : 収支の把握をすることと、単体で利益を上げられる仕組みができないなら、廃止にするべきでは。
- 小松原会長 : この施設は、小、中学校の体験学習の場がメインだと思う。その部分は委員の皆さんも評価してくださっていると考えている。
- A委員 : 私もこの施設は絶対に必要だと思うが、施設を保有していない自治体もあるということは、記載してほしい。
- 小松原会長 : 指定管理者との関係をまずはしっかりやってから、冬期閉鎖という話になるのではないかと思う。廃止についても意見が割れているので、答申に盛り込むべきか、皆さんの意見を聞ければと思う。
- B委員 : 廃止については、少し考えて頂きたい。教育に関してはある程度の投資は必要だと思う。問題なのは、年間 1 億円の費用がかかっていることである。その部分の見直しやチェック体制はしっかりやるべきだと思う。冬期閉鎖した場合に、費用対効果がどうなのか、改めて検証する必要がある。林間学園の本来の目的は、小、中学生の社会生活や、集団生活の体験の場であり、一般の利用はプラスアルファとして考えてもらいたい。子どもたちの育成の場として、林間学園はあった方がよい。
- D委員 : 今回の契約で、手を挙げた業者が 2 社だけなのはなぜか。5 社くらいから選べなかったのか。
- 事務局 : 一定期間募集して、手を挙げた業者が 2 社のみだった。
- F委員 : 教育の場として、区が保有するべきという考えは理解できたが、どうしても葛飾区で保有するべきなのかが疑問である。きちんとした収支報告、改善策が見られないのであれば、他の自治体から施設を借りるという方向を見出すべきではないか。
- 小松原会長 : 区が保有することで、優先して使用できるメリットはあると思う。
- F委員 : 区で保有するメリットは理解できた。教育という部分で、もっと子どもたちにとって必要な行事、運営を見直すべきではないか。例えば、キャンプは防災の知恵を授ける方向になっている。そういうものが噛み合ってくるならば、意義のあるものになると思う。教育に絞るのであれば、施設を保有するメリットはあると思う。教育という面で子ども達にメリットのあるサービスを考えれば、冬期の利用人数も増えるのではないか。
- C委員 : メリットがあることは理解できたが、運営方法や、収支改善が見られなければ、存続、廃止について議論をするべきという文言を加えた方がよいのではないか。

- D委員 : 所管課が情報収集して現場を知る、業者と密に連絡をとることが必須である。
- A委員 : 私は施設を保有するべきだと考えているが、廃止もあるという文言を加えないと、区も、指定管理者も真剣に考えないのではないか。このままではダメだということを明確に記載した方が良い。
- E委員 : 指定管理者は集客のノウハウを持っていると思うので、それを活かして宣伝してもらえば良いのでは。
- D委員 : ランニングコスト1億円は払いすぎではないかと思う。
- 小松原会長 : もう少し色々な取組みをやってから、廃止の判断をするべきではないかと私は思うが、今後の方向性の部分に意見として閉鎖なり、冬期の廃止を入れるか。
- C委員 : 皆さんの意見を取り入れるのであれば、存続、冬期閉鎖、廃止という文言を入れるべきでは。
- D委員 : 私は、冬期閉鎖、廃止は反対である。時期尚早だと思う。PR方法等をまずは見直してから、考えるべきではないか。
- C委員 : 私は時期尚早だとは思わない。将来の世代に負の遺産を残すべきではない。存続という意見も分かるが、意見が割れたことは、評価結果に記すべきである。委員全員の総意ではないので、成果ではなく、今後の方向性の部分に記載してほしい。
- 小松原会長 : あくまで今回は日光林間学園を運営していくことに対する事務事業評価であり、固定資産の売却までここで評価できるのか。
- 事務局 : 資産の処分云々になると、今回の事務事業評価に合わなくなる部分もある。
- F委員 : 見直しの効果がなければ、冬期閉鎖や、廃止も有りうることをニュアンスとして匂わせる文言を加えたらどうか。
- 小松原会長 : 文言については事務局と検討していく。

(3) 20歳代・30歳代健康診査

- 小松原会長 : 今までの皆さんの意見は、対象者を絞って実施するという意見だと思うが、対象者を絞るならば、今まで受診していた20歳代、30歳代の受診機会を奪うことになってしまう。そのフォローがないと、節目検診を答申に盛り込むことは難しいと感じる。
- A委員 : 対象者を正確に把握できないならば、その文言を評価結果に載せることは違和感がある。
- F委員 : ハガキを出すコストとポスターを掲示するコストを按分しても良

いのではないか。他にも、20代、30代に一回ずつ無料のカウンセリングを実施してはどうか。

D委員 : 事業自体は良いと思うが、PRが足りないと感じる。色々な形で周知してほしい。

C委員 : 対象年齢全世帯にハガキを送付しても受診者数は低迷しているという文言を加えてはどうか。また、やみくもにハガキを送付するのではなく、応答が有効な年齢を検証して、ハガキを送付する年齢層を絞りこんだ方が良いと思う。

E委員 : 各駅にポスターを貼ったらどうか。

小松原会長 : 基本的には節目健診ではなく、今のやり方を存続しながら、ハガキを出す対象者の検証、PR方法の改善、健康に関する啓蒙活動をしっかりやることなどで、文言をまとめさせていただく。

3 その他

事務局より事務連絡

4 閉会